

〇〇〇〇のみなさん、日本共産党です。松戸市議会議員選挙はあさつて(あす)投票日を迎えます。この選挙戦を通じて、議員を選ぶ基準がハッキリしてきました。それは、まず第一に、暮らしを本当に守れるのはどの党、どの議員かということです。

松戸ではこの12月から、小学校6年生まで医療費が無料となります。日本共産党が、お母さんたちと力を合わせて署名にも取り組み、議会でも繰り返し取り上げてきたことが実りました。日本共産党は引き続き、中学校卒業までの医療費無料化や、各種ワクチンの無料化をすすめ、子育て安心の松戸市をつくります。

「国民健康保険料が高くて払えない」と市民から悲鳴があがっています。日本共産党は、松戸市独自で国保料を、せめて一世帯1万円引き下げられるためにがんばります。そもそも、国保がこんなに高くなったのは、自民党政治のもとで、国が補助金は50%から25%に減らしたためです。日本共産党は、補助金を元に戻して、国の責任で一人1万円引き下げを要求しています。高齢者を差別する、後期高齢者医療制度は直ちに廃止し、75歳以上の高齢者の医療費は無料にするために国や県にも強く要求します。

みなさん、地域経済の活性化はまったなしです。千葉県いすみ市では、住宅リフォーム工事費の10%を、20万円を限度に助成する制度が大好評で、経済波及効果は予算の1.5倍になっています。住民も業者も大喜びの「住宅リフォーム助成制度」を、松戸市でもつくらせるために、日本共産党はがんばります。

他にも、学校の耐震化工事、トイレの改修やクーラーの設置、駅や公共施設へのエレベーターやエスカレーターを設置を急ぎ、特別養護老人ホームや保育所、児童館の増設など、福祉型公共事業で地元経済を活性化させます。

財源はあります。松戸市には24種類・100億円以上の基金(ため込み)があります。日本共産党は、これらの一部を取り崩して、市民のくらし・福祉にまわします。市役所の事務機のリース契約見直しなどで、すぐにでも3億円の財源が生み出せます。市民の暮らしを守るために、トコトンがんばる日本共産党を伸ばしてください。

NEW!!

みなさん、この市議選でもう一つハッキリしたのが、議会と議員の役割、あり方の問題です。松戸市ではこれまで、市議会の多数を占める自民系、公明、民主の議員は、国保値上げなど、前市長の暮らしを削る提案にはすべて賛成。子どもの医療費無料化など、市民の願いは冷たく拒否。松戸の民主党議員は、自民党系議員と同じ会派に入っているほごです。こうした結果、松戸市は子育てしづらく、高齢者も住みづらくなってしまうました。

日本共産党の議員は、アンケートで市民の声を聞き、市民の願いを毎議会届け、市政のムダ使いを厳しくチェックしてきました。議会のない時も、議会報告活動を続け、生活相談や労働相談で市民の暮らしを守るために全力をあげています。

NEW!!

みなさん、11月の広報松戸の2面をご覧になったでしょうか。本郷谷市長は、「事業仕分け」と称して、高齢者ふれあい事業や難病手当などの福祉を削ると言っています。市民の暮らしが大変な時に、福祉や教育、医療の後は許せません。日本共産党は、市政を厳しくチェックします。

このように、市議会は市民の声を市政に届け、行政のムダと行き過ぎをチェックし、市民の願いを実現するために働くことが仕事です。「議会改革」と称して、市長になんでも賛成で、少数の議員さえいけばよいというのは、議会の役割が果たせません。

NEW!!

日本共産党は、今年の9月議会で、議員報酬引き下げを提案しました。議員の海外視察も厳しく批判して、12年前から中止させるなど、本当の「議会改革」の先頭に立ってきました。日本共産党の議員でこそ、市民の願いに応える市議会がつくれます。

みなさん、尖閣諸島は歴史的にも、国際法上も間違いなく日本の領土です。今回流出したビデオは隠すべきものではなく、もっと早く公開すべきものでした。これを機会に国民の知る権利を制限しようとするなど、もつてのほかです。

いのちと暮らし、民主主義を守りぬく日本共産党への支援を心からお願いたしました。この場での訴えとさせていただきます。ご清聴、ご協力、ありがとうございます。